

・学年/教科	第3学年/社会科	授業者 大迫 翔大
・事例タイトル	避難経路を探そう	

・授業の概要

前のテレビにグーグルマップを映し、地域探検をする。その中で、危険な箇所を見つけ避難経路を考えていく。

(ねらい)

- 災害から命を守る工夫について知り、安全な行動の仕方ができるようにする。
- 地域の避難場所や防災設備について調べ、防災意識の向上につなげる。

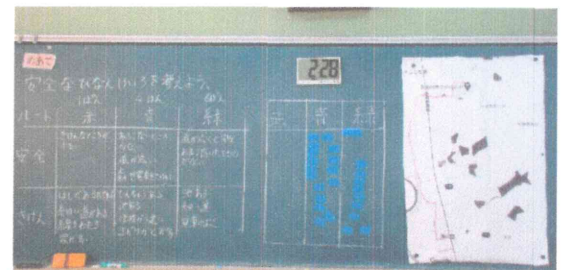
・事前学習

- 1、富田林の避難所を学習する。また、なぜ避難所になっているのか考える。
- 2、阪神淡路大震災などを動画で学び、地震発生時に起こる自分たちが住んでいる地域での被害を予想する。
- 3、グーグルマップを見ながら、伏山校区の地図に危険箇所をチェックする。
- 4、金剛駅から伏山台小学校までの避難経路を考える。



(授業展開)

- 1、自分で地域のマップに滝谷駅から伏山台小学校までの避難経路を考える。
- 2、地域の中の危険な場所を確認する。
- 3、班で交流させ、より良い避難経路を考える。
- 4、班で決めた避難経路を発表する。
- 5、班で出た避難経路をクラス全体で確認する。
- 6、避難経路は、災害の種類やその場の状況によって変わることを理解させる。



・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など

- 使用機器 パソコン テレビ
- 使用機能 グーグルマップ

・伏山 STEPS との関連


S(スキル) T(ツール) E(エクスプローラー) P(プログラミング) セキュリティ

・タブレット活用により期待できる効果やねらい

- グーグルマップを使うことで、立体で地域の様子をとらえることができる。

・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など

- グーグルマップを見ることで、危険箇所などがわかりやすくなった。
- 子どものタブレットスキルが理解できた。

<p>・学年/教科</p>	<p>第3学年/国語科</p>	<p>授業者 辻野 奈津美</p>
<p>・事例タイトル</p>	<p>ローマ字の学習</p>	
<p>・授業の概要 (ねらい) ○ローマ字の習得を視覚化することで、より身近なものと感じさせる。書字とタブレットを組み合わせながらローマ字習得のための覚える速度を上げる。 (授業展開) 1、iPad の写真を使って、まちにあるローマ字に気づく。 2、ローマ字表記が様々なところに使われていることを知り、これから学習することに興味関心をもたせる。 3、ローマ字表記があることで、様々な国の人たちにもわかりやすく表示していることに気づき、ローマ字が、母音 aiueo と子音の組み合わせで出来ていることを知る。 4、TV 画面に映された aiueo の文字を読む練習・単語を読む練習をする。 5、タブレットを使って、ローマ字を読む練習をする。 6、K との組み合わせがカ行を、S との組み合わせがサ行を表すことを知る。 7、タブレットを使って、タイピング練習をする。 8、タイピングによって、小文字と大文字を結び付けさせる。</p>		
<p>・使用した ICT 機器と機能 ○使用機器 タブレット 26台 iPad 1台 ○使用機能 ジャストスマイル</p>		
<p>・伏山 STEPS との関連 <input checked="" type="checkbox"/>S(スキル)<input type="checkbox"/>T(ツール)<input type="checkbox"/>E(エクスプローラー)<input type="checkbox"/>P(プログラミング)<input type="checkbox"/>セキュリティ</p>		
<p>・タブレット活用により期待できる効果やねらい ○機器を使うことで、興味関心を持たせることができ、習得が速くなる。 ○タイピングを学ぶことで、今後のプレゼンテーション制作等の力につながる。 ○学んだローマ字をタイピングすることで、覚えやすくなる。</p>		
<p>・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など ○初めて挑戦することに興味関心を持たせることができ、その関心をローマ字書字等に意欲をつなげることができた。 ○普段書字が難しい児童にも視覚化によって覚える要素が増えた。 ○タブレットや iPad を使うことで、一人ひとりの理解度を確かめられ、分からなかった部分に戻って再び学習することができる。</p>		